

患者さん向けおくすり情報

おくすり Q&A

Q. OD錠ってなに？

A. OD錠とは口腔内崩壊錠のことで、口の中で唾液によって崩れる錠剤のことをいいます。水なしでも服用することができます。

通常のお薬と同じようにお水で服用しても構いません。

Q. 目薬の正しい使い方を教えて！

A. 点眼後、目を閉じ、目頭を圧迫してください。

目頭を圧迫するのは点眼剤の効果が不必要な場所に広がらないよう目だけに留めるためです。薬の種類によっては心臓の働きに影響が出るものもありますので注意が必要です。また、複数の点眼剤を使用する場合は5分以上の間隔をおいて点眼してください。点眼剤の中には使用する順番を誤ると効果が弱くなってしまうことがあるので、詳しいことは薬剤師にお尋ねください。

Q. 薬はどうやって保管すればいいの？

A. お薬は直射日光、高温多湿を避けて保管してください。特に湿気や日光に弱いお薬は、チャック付きビニール袋やお菓子の缶のよう

な密閉できる容器に乾燥剤とともに保管してください。

Q. 薬と相性の悪い食べ物があるって聞いたんだけど、どんなものがあるの？

A. お薬の中には、他のお薬や食べ物と組み合わせがよくないものがあります。

有名なものでは、ワーファリンと納豆が挙げられます。

ワーファリンの血液をサラサラにする作用を、納豆に含まれるビタミンKが邪魔してしまいます。

他にも多くのお薬と食べ物に組み合わせのよくないものがありますので、不安に思う方は薬剤師にお尋ねください。

Q. ドラッグストアで買ったおくすりと一緒に使ってもいいの？

A. 軽い症状の病気では、ドラッグストアや薬局で購入できる、いわゆる OTC 医薬品と呼ばれる一般薬を使用することが多いと思います。しかし、病院でもらうお薬を普段から飲んでいる方は注意が必要です。お薬は飲み合わせの相性が存在し、組み合わせによっては有害な作用を引き起こしてしまうこともあります。あらかじめ服用しているお薬を薬剤師や登録販売者にご相談のうえ、購入してください。

Q. 食前、食後、食間って具体的にいつ？

A. 「食前」は食事の 30 分前以内、「食後」は食事後 30 分以内、食間は前の食事から 2 時間ほどあけて、という意味です。それぞれのお薬に合った服用時間が決められているので、お薬を飲むタイミングは医師の指示に従ってください。

Q. 塗り薬が複数処方されました。塗る順番は決まっているの？

A. 塗り薬を複数塗る場合は、医師の指示通りに塗ってください。保湿剤などより広く塗る方を先に塗り、患部のみに塗る方は後から塗ってください。

Q. お薬が余っているんだけど、どうしたらいい？

A. 医師、薬剤師に相談してください。まだ使えるお薬がある場合は、次回の処方量を少なくすることができます。自らの経済的負担はもちろん、国の医療費をも軽減することに繋がります。使わないお薬がご自宅にある場合には、薬剤師にご相談のうえ、病院・薬局にお持ちください。適切な方法で廃棄いたします。また、処方箋によって交付されたお薬は、副作用などが出現し、医師から中止指示がない限り原則服用を続けてください。とっておいて後から使うことのないようお願いいたします。不適切な使用による思わぬ副作用が現れることがあります。

Q. ジェネリック医薬品ってなに？

A. ジェネリック医薬品とは、先発医薬品と呼ばれる医薬品の特許期限が切れ、メーカーが自由に作れるようになったお薬のことです。先発医薬品と同等の効能を持つことが確認されており、特許料がかからないため先発医薬品と比べて安価であることが特徴です。また、服用しやすいように形や味を工夫し、先発医薬品よりも使用感を改善したものもあります。

Q. ジェネリック医薬品に変更するにはどうしたらいい？

A. 使用している先発医薬品をジェネリック医薬品に変更したいときには、医師、保険薬局の薬剤師にご相談ください。なお、特許期間がまだ切れていない医薬品の場合、ジェネリック医薬品が販売されていない先発医薬品の場合は変更できませんので予めご了承ください。

Q. 国体に出るんですが、ドーピングに引っかかる薬ってあるんですか？

A. アスリートの方に気をつけていただきたいのが、ドーピングです。例えば、風邪の時に服用される方が多い葛根湯は、実はドーピングに該当する成分を含んでいます。他にもいろいろなお薬がドーピ

ングの対象となっています。そうとは知らずにドーピングしてしまうことを、「うっかりドーピング」といいます。しかし、知っていようといまいと検査で陽性が出てしまうと処罰の対象になりますので、あらかじめ薬剤師に確認するようにしてください。また、代替薬がなく、治療上やむを得ず使用しなければならない場合は医師に治療使用特例を作成してもらうことになります。詳しくは医師・薬剤師にご相談ください。